

2022年(令和4年度)環境土木学科シラバス一覧表

科目No	科目名	科目区分	授業形態	対象学年	前期・後期	毎週・集中	週の講義数/ 集中講義数	履修時間	単位
土001	建築基礎製図	専門基礎	実習	1	通年	毎週	2	68	2
土002	建築CAD	専門基礎	実習	1	通年	毎週	2	68	2
土003	土木CAD	専門	実習	1	通年	毎週	2	68	2
土004	建築計画	専門	講義	1	通年	毎週	2	68	4
土005	環境工学	専門基礎	講義	1	通年	毎週	2	68	4
土006	構造力学Ⅰ	専門	講義	1	通年	毎週	2	68	4
土007	土質力学	専門基礎	講義	1	通年	毎週	2	68	4
土008	建築一般構造	専門	講義	1	通年	毎週	2	68	4
土009	建築材料	専門	講義	1	通年	毎週	2	68	4
土010	建築施工	専門	講義	1	通年	毎週	2	68	4
土011	土木施工	専門	講義	1	通年	毎週	2	68	4
土012	造園学Ⅰ	専門基礎	講義	1	通年	毎週	2	68	4
土013	測量実習Ⅰ	専門	実習	1	通年	毎週	2	68	2
土014	測量数学Ⅰ	専門基礎	講義	1	通年	毎週	2	68	4
土015	コンピュータ演習Ⅰ	一般教養	実技	1	通年	毎週	2	68	2
土016	建築設計製図	専門基礎	実習	2	通年	毎週	2	68	2
土017	エクステリア設計	専門	実習	2	通年	毎週	2	68	2
土018	土木計画	専門	講義	2	通年	毎週	2	68	4
土019	測量実習Ⅱ	専門	実習	2	通年	毎週	2	68	2
土020	建築設備	専門基礎	講義	2	通年	毎週	2	68	4
土021	電気設備	専門基礎	講義	2	通年	毎週	2	68	4
土022	構造力学Ⅱ	専門基礎	講義	2	通年	毎週	2	68	4
土023	鉄筋コンクリート構造	専門基礎	講義	2	通年	毎週	2	68	4
土024	橋梁学	専門基礎	講義	2	通年	毎週	2	68	4
土025	建築積算	専門	講義	2	通年	毎週	2	68	4
土026	建築法規関連	専門	講義	2	通年	毎週	2	68	4
土027	道路地盤工学	専門基礎	講義	2	通年	毎週	2	68	4
土028	施工管理倫理	専門	講義	2	通年	毎週	2	68	4
土029	園芸学	専門	講義	2	通年	毎週	2	68	4
土030	造園学Ⅱ	専門	講義	2	通年	毎週	2	68	4

【科目コード：土 001】

科目	建築基礎製図	科目区分	専門基礎
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	1年
担当講師	渡慶次 育恵	単位数	2単位
実務経験	設計事務所経営		

【授業のねらい】

・設計製図の基本となる描き方やルール等の基礎的事項について説明を行い、各種図面の作図手順、他の図面との関連付けを行い基本技術を習得する。

【授業の展開計画】

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. 木造図面①：南立面図の作図 |
| 2. 2) 基本練習：器具使用法・線練習(JIS)1 | 19. " ②： " |
| 3. "：線練習(JIS)2 | 20. " ①：北立面図の作成 |
| 4. "：文字の練習(JIS) | 21. " ②： " |
| 5. "：表示記号練習1(JIS) | 22. " ①：東立面図の作図 |
| 6. "：表示記号練習2(JIS) | 23. " ②： " |
| 7. 3) 詳細図①：木造の土台回りを作図 | 24. " ①：西立面図の作図 |
| 8. " ②： " | 25. " ②： " |
| 9. " ①：木造の軒先回りを作図 | 26. 断面図①：A-A' 断面図を作図 |
| 10. " ②： " | 27. " ②： " |
| 11. 4) 図面の種類：企画図・基本設計・施工図 | 28. 矩計図①：B-B 矩計図を作図 |
| 12. 5) 各種図面：見取図・求積・配置図など | 29. " ②： " |
| 13. 6) 木造面図①：木造 1F 平面図を作図 | 30. " ③： " |
| 14. " ②： " | 31. 伏せ図①：2階伏図兼1階小屋伏図作図 |
| 15. " ①：木造 2F 平面図を作図 | 32. " ②： " |
| 16. " ②： " | 33. " ③： " |
| 17. 7) 定期考査：前期（成果品） | 34. 8) 定期考査：後期（成果品） |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40点満点）と成果品（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・職業訓練教材研究会 「建築〔IV〕」・職業訓練教材研究会 「建築製図」

【参考文献・その他】

- ・製図道具一式

【科目コード：土 002】

科目	建築 CAD	科目区分	専門基礎
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	1年
担当講師	宮城 敦	単位数	2単位
実務経験	建築会社経営		

【授業のねらい】

・建設 CAD の基本操作を習得し、敷地図、設備図、詳細図などのさまざまな図面作成を紹介し、建築 CAD の基本技術を習得する。

【授業の展開計画】

- | | | |
|-------------------------|-----|----------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. | 5) CAD で簡易作図：鉄骨造平面図② |
| 2. 2) JW_CAD 基本：使用準備・設定 | 19. | 〃：異なる縮尺の作図① |
| 3. 〃：コマンドの説明 | 20. | 〃：〃② |
| 4. 3) CAD で簡易作図：作図の練習 | 21. | 〃：塗潰し |
| 5. 〃：製図の準備 | 22. | 〃：画像挿入 |
| 6. 〃：配置図 | 23. | 電気設備に関する作図：電気照明平面図 |
| 7. 〃：平面図 | 24. | 〃：コンセント配置図 |
| 8. 〃：屋根伏図① | 25. | 空調設備に関する作図：空調平面図 |
| 9. 〃：〃② | 26. | 〃：換気設備平面図 |
| 10. 〃：断面図 | 27. | 給排水設備に関する作図：給水設備平面図 |
| 11. 〃：立面図 | 28. | 〃：排水設備平面図 |
| 12. 〃：木造平面図① | 29. | 建築物に関する作図：敷地平面図 |
| 13. 〃：〃② | 30. | 〃：求積図(地積図) |
| 14. 〃：RC 造平面図① | 31. | 〃：日影図 |
| 15. 〃：〃② | 32. | 〃：天空図 |
| 16. 〃：鉄骨造平面図① | 33. | 〃：天空率 |
| 17. 4) 定期考査：前期（試験）（成果品） | 34. | 6) 定期考査：後期（試験）（成果品） |

【履修上の注意事項】

出席率が 2 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40 点満点）と成果品（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

・エクスナレッジ「やさしく学ぶ JW_CAD（敷地・日影・天空・詳細・設備）」

【参考文献・その他】

・2D 作成フリーソフト使用（JWW_CAD）・（HO_CAD）・プロジェクター使用

【科目コード：土 003】

科目	土木 CAD	科目区分	専門
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	2年
担当講師	辺土名 朝史	単位数	2単位
実務経験	総合建設業勤務経験		

【授業のねらい】

・手書き製図を始め、建設 CAD を用いて基本操作・応用練習を学び、土木構造物などの作図を行い CAD オペレーターの技術を習得する。

【授業の展開計画】

1. 1) 図面演習：器具などの取扱い使用方法
2. " ①：製図の概要と必要性
3. " ②：製図技法、専門的文字
4. " ③：線種、数字など
5. " ④：構造物トレース
6. 2) JW_CAD 演習：PC 使用ガイダンス
7. " ①：CAD 概要、使用設定
8. " ②：基本操作：線、2 線
9. " ③：コーナー、ハッチ、中心線
10. " ④：円、距離指定点、曲線、傾図
11. " ⑤：指定消去、寸法(角度)、図読
12. " ⑥：接円、接線、多角形、短形、
13. " ⑦：複線、角度読取、分割、文字
14. " ⑧：包絡処理、面取、連続線
15. " ⑨：総合練習
16. 3) 定期考査：前期(成果品)
17. " ：総合復習
18. 4) 各断面図作成 ①側溝断面作図・図面読解
19. " ：補助線、作図
20. " ：図確認、印刷
21. ②L 型側溝断面：図面読解
22. " ：補助線、作図
23. " ：図確認、印刷
24. ③逆 T 形擁壁：図面読解
25. " ：補助線、作図
26. " ：鉄筋拾い(数量等)
27. " ：作図(鉄筋・躯体)
28. " ：寸法、確認、印刷
29. 5) 記号図 1：建築設備記号の概要
30. " ：建築設備記号作図、印刷
31. 6) 記号図 2：電気設備記号の概要、作図
32. " ：電気設備記号作図、作図
33. 7) 定期考査：後期(試験)(成果品)
34. 8) 類似 CAD (HO_CAD)：操作互換性

【履修上の注意事項】

出席率が 2 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点(40 点満点)と成果品(60 点満点)試験点数の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・エナジック「高校生から始める JW_CAD 土木製図入門」・市ヶ谷出版「土木製図ノート」

【参考文献・その他】

- ・インターネットよりフリー素材参考(画像・文面)

【科目コード：土 004】

科目	建築計画	科目区分	専門基礎
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	1年
担当講師	渡慶次 育恵	単位数	4単位
実務経験	設計事務所経営		

【授業のねらい】

- ・建築物を計画する為の基本的な考え方や計画手法について学ぶ。

【授業の展開計画】

- 1) 日本建築史①：先史(竪穴・高床・住居)
- 2) 古代・仏教飛鳥：～社寺建築
- 3) 律令制受容：藤原・平安京について
- 4) 神社建築：神明造・大社造について
- 5) 仏教建築・上層住宅：平安前期の建築
- 6) 建築生産：大工集団の誕生
- 7) 平安中期・思想：仏教伝来の影響
- 8) 平安内裏と神殿：内裏造と神殿造
- 9) 中世(概要・大仏・)：大仏建築・仕口と継手
- 10) 禅宗と和：貫補強・折衷について
- 11) 野屋根と桔木：野屋根と桔木の関係性
- 12) 枝割制と六枝掛け：垂木寸法と柱間寸法
- 13) 生産組織の変化：大工職人制度と棟梁
- 14) 工具：製鉄技術の発達と工具の進化
- 15) 上層住宅：寝殿造について
- 16) 近世(概要・城郭・下町)：戦国時代城下町
- 17) 2) 定期考査：前期(試験)
- 18) 3) 西洋建築史：古代エジプトの造作物
- 19) 古代オリエント：ジグurat・焼成瓦・宮殿
- 20) 古代ギリシャ：石造建築・イオニア式など
- 21) 古代ローマ：勢力と建築様式の変化
- 22) 寝殿と都市：寝殿・都市造り
- 23) 建築書・バシカ・キリスト：建築関係十巻書など
- 24) ビザンチン建築：東ローマ帝国の特徴
- 25) イスラム建築：モスク・アラベスクや幾何字も彰
- 26) ロマネスク建築：教会建築・視覚的分節など
- 27) ゴシック建築：ヴォールトの多用・考査
- 28) 中世、世俗建築：世俗建築・市庁舎・城など
- 29) ルネサンス建築：概要・建築論展開・オーダー
- 30) バロック建築：概要・大聖堂など
- 31) 西洋の建築家：バルニーニ、ヴァッソーなど
- 32) 4) 近代建築史：啓蒙主義・人間主義・技術
- 33) " : 民主主義的な建築運動など
- 34) 5) 定期考査：後期(試験)

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点(40点満点)と試験点数(60点満点)の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・一般財団法人 職業訓練教材研究「三訂 建築概論」

【参考文献・その他】

【科目コード：土 005】

科目	環境工学	科目区分	専門基礎
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	1年
担当講師	當間 直樹	単位数	4単位
実務経験	—		

【授業のねらい】

・空気環境、熱環境、光環境、音環境について学び、建築物を取り巻く自然環境と都市環境について学ぶ。

【授業の展開計画】

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. 日照と日射 1：太陽の位置 |
| 2. 2) 建築環境の概要：自然と都市の建築 | 19. 日照と日射 2：検討(日影曲線・位置図) |
| 3. "：建築環境工学の考え方と手法 | 20. "：天空率と天空比・日射 |
| 4. 気候 1：外部気候(気温・湿度) | 21. 採光・照明・色彩 1：測光量・採光 |
| 5. "：(風・雨・雪・台風など) | 22. "：視覚と見やすさ |
| 6. 気候 2：室内気候(温熱要素・温熱環境) | 23. 採光・正目・色彩 2：照明(人口・照度基準) |
| 7. "：" | 24. "：照明(照明計算・照明計画) |
| 8. 伝熱と結露 1：伝熱(基礎・熱貫流) | 25. 音環境 1：音の性質と特性 |
| 9. "：伝熱(断熱・蓄熱・変動) | 26. "：遮音と吸音について |
| 10. 伝熱と結露 2：結露(結露の発生と雪) | 27. 音環境 2：騒音とその影響・測定など |
| 11. "：結露(結露の防止) | 28. "：振動とその影響・測定など |
| 12. 換気と通風 1：室内の空気汚染① | 29. 音環境 3：振動とその影響・測定など |
| 13. "：室内の空気汚染② | 30. 都市環境 1：都市の熱環境 |
| 14. 換気と通風 2：換気について | 31. "：都市の空気環境 |
| 15. "：通風について | 32. 都市環境 2：都市の光環境と水環境 |
| 16. 日照と日射 1：日照と住環境 | 33. "：" |
| 17. 3) 定期考査：前期(試験) | 34. 4) 定期考査：後期(試験) |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点(40点満点)と試験点数(60点満点)の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・学芸出版 「初めての建築環境」

【参考文献・その他】

- ・プリント配布・インターネットよりフリー素材参考(画像・文面)

【科目コード：土 006】

科目	構造力学 I	科目区分	専門基礎
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	1年
担当講師	當間 直樹	単位数	4単位
実務経験	—		

【授業のねらい】

・ 構造物の力学的モデル化と、静的構造物の力学的問題を解く方法を学ぶ。また、部材断面の性質と応力、変形について学ぶ。

【授業の展開計画】

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方 | 18. 6) 第4章 断面力：応力度・ひずみ度 |
| 2. 2) 第1章 構造概論：建築物と構造力学 | 19. // : ポアソン比・せん断変形 |
| 3. 3) 第2章 力基本：表し方・モーメント | 20. // : 主応力 |
| 4. // : 合成と分解 | 21. // : 曲げを受ける部材 |
| 5. // : 力のつり合い・反力 | 22. // : 断面1,2次モーメント |
| 6. // : 安・不安定、静・不静定 | 23. // : 断面の主軸と係数 |
| 7. 4) 第3章 部材力：静定トラスと力 | 24. // : 曲げモーメントとせん断部材 |
| 8. // : 節点法・切断法 | 25. // : 梁の主応力線 |
| 9. // : 静定梁と力 | 26. // : 曲げと軸力を受ける部材 |
| 10. // : 荷重・せん断・曲げ | 27. // : 各組合せの応力 |
| 11. // : 片持梁の集中荷重 | 28. 7) 第5章 部材の変形 : モーメントと変形 |
| 12. // : // | 29. // : 片持部材の変形 // |
| 13. // : 単純梁の集中荷重 | 30. // : 曲率と変形 |
| 14. // : // | 31. // : モールの定理 |
| 15. // : 静定ラーメン | 32. // : せん断力による変形 |
| 16. // : // | 33. // : 軸方向力による変形 |
| 17. 5) 定期考査 : 前期 (試験) | 34. 4) 定期考査 : 後期 (試験) |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点 (40 点満点) と試験点数 (60 点満点) の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・ 学芸出版「図解レクチャー 構造力学」・学芸出版「建築構造 I」

【参考文献・その他】

- ・ プリント配布

【科目コード：土 007】

科目	土質力学	科目区分	専門
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	1年
担当講師	辺土名 朝史	単位数	4単位
実務経験	総合建設業勤務経験		

【授業のねらい】

・土の性質、特性を理解し、造作物建設などにおいて、設計や安定計算などが行えるように専門知識を学ぶ。

【授業の展開計画】

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価など | 18. 圧密：せん断強度・破壊 |
| 2. 2) 土の緒元：土とは、乾燥・湿潤・飽和 | 19. //：クーロンの破壊基準 |
| 3. //：間隙・含水・飽和度 | 20. //：モールの応力円 |
| 4. //：水・土の密度 | 21. //：せん断試験 |
| 5. //：単位体積重量 | 22. //：一軸・三軸圧縮試験 |
| 6. //：粒度 | 23. 7) 土圧：土圧の種類 |
| 7. //：コンシステンシー | 24. //：作用点 |
| 8. //：締固め | 25. //：クーロン土圧 |
| 9. //：標準貫入試験とN値 | 26. //：ランキン土圧 |
| 10. 3) 土中の水：土中の水・透水試験 | 27. 8) 斜面安定：崩壊の仕組み・種類 |
| 11. //：流線網 | 28. //：安定計算 |
| 12. 4) 土の応力：応力の原理 | 29. //：斜面对策工 |
| 13. //：水位の表面 | 30. 9) 支持力：基礎の種類・支持力 |
| 14. //：// | 31. //：許容支持力 |
| 15. 5) 圧密：圧密とは | 32. //：テルツアギーの支持力 |
| 16. //：土の強度と破壊 | 33. //：その他の支持力 |
| 17. 6) 定期考査：講義演習ノート提出 | 34. 10) 定期考査：講義演習ノート提出 |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点(40点満点)と講義ノート提出(60点満点)の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・コロナ社 「書き込み式 はじめての土質力学」

【参考文献・その他】

- ・プリント配布・インターネットよりフリー素材参考(画像・文面)

【科目コード：土 008】

科目	建築一般構造	科目区分	専門基礎
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	1年
担当講師	當間 直樹	単位数	4単位
実務経験			

【授業のねらい】

・建築における各種の構造（W造・S造・RC造・SRC造）について、構成、構築方法及び構造計画の基本的考え方などを学ぶ。

【授業の展開計画】

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. 鉄筋コンクリート構造：躯体の構成 |
| 2. 2) 木構造：構造の特徴と構造形式 | 19. "：外部仕上げ・内部仕上げ |
| 3. "：建築用木材・性質 | 20. 5) 鋼構造：鋼構造の特徴と構造形式 |
| 4. "：基礎・軸組 | 21. "：鋼と鋼材 |
| 5. "：小屋組・床組 | 22. "：鋼材の接合 |
| 6. "：外部仕上げ・内部仕上げ | 23. "：基礎種類と構成 |
| 7. "：接合法 1 | 24. "：骨材の構成 1 |
| 8. "：" 2 | 25. "：" 2 |
| 9. "：木造枠組み 1 | 26. "：耐火被覆 1 |
| 10. "：" 2 | 27. "：" 2 |
| 11. "：壁構法 1 | 28. "：外部仕上げ 1 |
| 12. "：" 2 | 29. "：" 2 |
| 13. 3) 鉄筋コンクリート構造：RC構造の特徴・形式 | 30. 6) その他の構造：壁式構造 |
| 14. "：鉄筋形状・品質 | 31. "：CB造 |
| 15. "：コンクリート品質管理 | 32. "：プレストレスコンクリート構造 |
| 16. "：まとめ | 33. "：鉄骨鉄筋コンクリート |
| 17. 4) 定期考査：前期（成果品）（試験） | 34. 7) 定期考査：後期（成果品）（試験） |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・実教出版「First Stage シリーズ 建築構造概論」・「建築構造」（工業 334）準拠 工業 334

【参考文献・その他】

- ・プリント配布・建築構造演習ノート

【科目コード：土 009】

科目	建築材料	科目区分	専門基礎
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	1年
担当講師	真志喜 修	単位数	4単位
実務経験	—		

【授業のねらい】

・建築物に使用される様々な建築材料を把握し、構造材、仕上材、防水材、防火材、耐火材、断熱材、防音材など各種材料の性質や特性を理解して、使用取扱いなどについて学ぶ。

【授業の展開計画】

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. 4) コンクリート：様々なコンクリート |
| 2. 2) 木材：木材の特徴と性質 | 19. " : セメント・コンクリート |
| 3. " : 木質材料の特徴と種類・使用方法 | 20. " : コンクリートブロック |
| 4. " : 植物材料 1 | 21. " : 単元試験 |
| 5. " : " 2 | 22. 6) それぞれの材料：種類・特徴 |
| 6. " : " 3 | 23. " : 石材 |
| 7. " : 単元試験 | 24. " : 土・漆喰 |
| 8. 3) 金属材料：金属の特徴と性質 | 25. " : 石膏・ボード |
| 9. " : 金属の種類と施工 | 26. タイル材料 : タイルの種類と施工 |
| 10. " : 非鉄金属材料 1 | 27. " : レンガの種類と施工 |
| 11. " : " 2 | 28. " : 瓦の種類と施工 |
| 12. " : " 3 | 29. プラスチック : プラスチック特徴・種類・用途 |
| 13. " : 単元試験 | 30. 塗装材 : 塗装種類・仕上塗材(種類・特徴) |
| 14. 4) コンクリート : コンクリートの特徴 | 31. 壁材 : 断熱材・吸音・遮音材の性能 |
| 15. " : セメント・骨材 | 32. 防火・耐火材料 : 防火・耐火の種類 |
| 16. 5) 定期考査 : 前期 (試験) | 33. 防水材 : シーリング材の種類 |
| 17. " : コンクリート調合 | 34. 7) 定期考査 : 後期 (試験) |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点(40点満点)と試験点数(60点満点)の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・学芸出版「やさしい建築材料」

【参考文献・その他】

- ・プリント配布・ビデオ学習・建築イベント見学など

【科目コード：土 010】

科目	建築施工	科目区分	専門基礎
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	1年
担当講師	宮城 敦	単位数	4単位
実務経験	建築会社経営		

【授業のねらい】

・建築工事の分類（仮設工・解体工・躯体工・仕上工・塗装工・設備工・給排水工など）ごとの専門知識を学ぶ。

【授業の展開計画】

- | | |
|--|---|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方 | 18. 9) 組積工事：ALC 工事・れんが工事 |
| 2. 2) 施工(計画・管理)：建築計画と管理① | 19. 11) 木工事：材料・木造の加工・その他 |
| 3. " ：建築計画と管理② | 20. " ：造作工事・枠組壁工法 |
| 4. 3) 仮設工事：要点・種類・仮囲い | 21. 12) 防水工事：種類・防水工事 |
| 5. " ：建築物等・足場・通路 | 22. " ：シーリング工事・その他 |
| 6. 4) 土工・地業・基礎工事：安全施設 | 23. 13) 左官工事：各種下地・塗り工事 |
| 7. " ：測量・地盤調査・杭 | 24. " ：仕上げ・吹付工事 |
| 8. 5) 鉄筋工事：種類・加工・組立 | 25. 14) タイル・石・塗装工事：タイル工事・石工事 |
| 9. " ：定着と継手について | 26. " ：種類と特性・下地工法 |
| 10. 6) 型枠工事：計画設計・材料・加工・組立 | 27. 15) 建具工事：木製建具について |
| 11. " ：解体・特殊工法 | 28. " ：金属製建具について |
| 12. 7) コンクリート工事：概要・材料・調合 | 29. 16) 内装工事：壁や天井の工法 |
| 13. " ：製造・運搬・打設・養生 | 30. " ：断熱材の性質・特性・工法 |
| 14. 8) 鉄骨工事：材料・工場作業・接合 | 31. 17) 設備工事：空調・水道について |
| 15. " ：現場作業・耐火被覆 | 32. " ：電気・保安など |
| 16. 9) 組積工事：補強 CB 工事 | 33. まとめ：仕様書や契約について |
| 17. 10) 定期考査：前期（試験） | 34. 18) 定期考査：後期（試験） |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・実教出版「例解と演習 2 級建築施工管理技士試験テキスト」

【参考文献・その他】

- ・プリント配布・インターネットよりフリー素材参考（画像・文面）・現場見学など

【科目コード：土 011】

科目	土木施工	科目区分	専門
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	1年
担当講師	辺土名 朝史	単位数	4単位
実務経験	総合建設業勤務経験		

【授業のねらい】

・土木工事の分類（基礎工・コンクリート工・舗装工・トンネル工・河川・海岸工など）ごとの専門知識を学ぶ。

【授業の展開計画】

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 1) 第1章 土木材料：①弾性、塑性材料 | 18. 7) 第6章 舗装工：路体工、路盤工 |
| 2. " : ②木材、石材 | 19. " : ①瀝青、As 混合剤、Co 舗装 |
| 3. " : ③鉄鋼、鉄骨 | 20. " : ②打設、仕上げ |
| 4. " : ④高分子材料 | 21. 8) 第7章 トンネル工：①トンネル、計画、掘削 |
| 5. 2) 第2章 土木機械：①土量計画と変化 | 22. " : ②爆破工（火薬、装薬） |
| 6. " : ②土工機械・法面保護 | 23. " : ③ずり処理、支保工、覆工 |
| 7. " : ③掘削機、浚渫機械 | 24. " : ④工法（シールド、開削、推進など） |
| 8. 3) 土工計画・設計：①建設機械の能力 | 25. 9) 第8章 河川・海岸工事：①築堤、護岸 |
| 9. " : 機械（損料、経費、所要量等） | 26. " : ②水制、砂防、ダム工事 |
| 10. 4) 基礎工：基層種類、改良 | 27. " : ③海岸工事、その他 |
| 11. " : 土留め、根堀工、直接基礎 | 28. 10) 第9章 自然共生：①土木施工と共生 |
| 12. " : 杭打ち基礎、基礎杭施工 | 29. " : ②生態系の配慮、ミイグレーション |
| 13. 5) 第5章 コンクリート：運搬・打込・締固 | 30. " : ③環境関連の法規 |
| 14. " : 仕上、養生、型枠撤去 | 31. 11) 第10章 建設副産物：①再利用、3R |
| 15. " : コンクリート（寒中・暑中・水中） | 32. " : ②廃棄物処理法、建設廃棄物 |
| 16. " : コンクリート製品の紹介 | 33. " : ③マニフェストの仕組み、建設リサイクル |
| 17. 6) 定期考査：前期（成果品）（試験） | 34. 12) 定期考査：後期（成果品）（試験） |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40点満点）と成果品（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・日建学院「2級土木施工管理技士 受験テキスト」

【参考文献・その他】

- ・プリント配布・ビデオ学習・インターネットよりフリー素材参考（画像・文面）・現場見学

【科目コード：土 012】

科目	造園学 I	科目区分	専門
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	1年
担当講師	岩村 浩生	単位数	4単位
実務経験	造園会社経営		

【授業のねらい】

・造園外構の構成を認識し、あらゆる視点から空間デザインとアプローチする仕組みを学ぶ。

【授業の展開計画】

1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 18. 5) 第3章：植栽
2. 2) 第1章：設計計画 19. " : 植栽基盤
3. " : 設計手順 20. " : "
4. " : 施設別設計 21. " : 植栽施工
5. " : " 22. " : "
6. 3) 第2章：材料・植物 23. " : 植栽の維持・管理
7. " : " 24. " : "
8. " : 石材 25. " : 芝生造成
9. " : " 26. " : "
10. " : セメント 27. " : 法面緑化
11. " : " 28. " : その他の緑化
12. " : コンクリート 29. 6) 第4章：伝統技法
13. " : " 30. " : 役木
14. " : 木材類 31. " : 景石
15. " : " 32. " : 水景工
16. " : その他 33. " : その他の伝統工法
17. 4) 定期考査：前期(成果品) (試験) 34. 7) 定期考査：後期(成果品) (試験)

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点(40点満点)と試験点数(60点満点)の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・オーム社 「わかりやすい造園実務ポケットブック」

【参考文献・その他】

- ・プリント配布・現場見学

【科目コード：土 013】

科目	測量実習 I	科目区分	専門
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	1年
担当講師	辺土名 朝史	単位数	2単位
実務経験	総合建設業勤務経験		

【授業のねらい】

・距離測定、水平角測定、トラバース測量、水準測量の据付技能から各測量観測が行える技術を習得する。

【授業の展開計画】

- | | | |
|-----------------------------|-----|---------------------------|
| 1. 1) 測量実習(基礎) : ①機器分類、使用方法 | 18. | 5) 三角測量 : ①トラバース測量概要 |
| 2. ②鋼巻尺での測定 : 計画、目盛読取 | 19. | 〃 : ②トランシット取扱い説明 |
| 3. ③測定(求積) : 選点及び測定 | 20. | 〃 : ③トランシット据付技能、求心 |
| 4. ④ 〃 : 測定及び手簿整理 | 21. | 〃 : ④技能 (円気泡、横気泡) |
| 5. ⑤求積計算 : ヘロン公式にて計算 | 22. | 〃 : ④ 〃 |
| 6. 2) 水準測量 : ①オートレベル操作、その他 | 23. | 〃 : ④ 〃 |
| 7. 〃 : ②レベルの正確な据付 | 24. | 〃 : ⑤観測計画、選点 |
| 8. 〃 : ③標尺読取練習、計画 | 25. | 〃 : ⑥観測練習 1 (角度視準) |
| 9. 〃 : ④路線計画、選点 | 26. | 〃 : ⑥ 〃 |
| 10. 〃 : ⑤距離測定(スチリア測量) | 27. | 〃 : ⑦観測練習 2 (距離測定) |
| 11. 〃 : ⑥標高測定 | 28. | 〃 : ⑦ 手簿整理 |
| 12. 〃 : ⑥ 〃 | 29. | 〃 : ⑧観測 1 (角度、距離測定)、 |
| 13. 〃 : ⑥ 〃 | 30. | 〃 : ⑧ 〃 |
| 14. 〃 : ⑦手簿整理、計算 | 31. | 〃 : ⑧観測及び観測データ確認 |
| 15. 〃 : ⑦公共基準許容差確認 | 32. | 〃 : ⑨データ確認及び再測 |
| 16. 3) 定期考査 : 前期(成果品)(実技試験) | 33. | 6) 定期考査 : 後期(成果品)(実技試験) |
| 17. 4) 測量機器管理 : 保管方法等 | 34. | 7) 測量機器管理方法 : (メンテナンス、保管) |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点(40点満点)と成果品(60点満点)の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

・実教出版 「測量演習ノート」・コロナ社 「よくわかる測量」 ・㈱ソキア 「測量機のレポート」

【参考文献・その他】

・実習用プリント配布・インターネットよりフリー素材参考(画像・文面)・現場見学

【科目コード：土 014】

科目	測量数学 I	科目区分	一般教養
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	1年
担当講師	當間 直樹	単位数	4単位
実務経験	—		

【授業のねらい】

・線形代数、微分積分学などを学ぶ上で基礎となる測量数学の知識を学ぶ。

【授業の展開計画】

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. 4) 第2章：代数と幾何・図形と式 |
| 2. 2) 第1章：微分法と積分法・初等関数（1） | 19. " : 2次曲線 |
| 3. " : " | 20. " : 平面ベクトル |
| 4. " : 初等関数（2） | 21. " : " |
| 5. " : " | 22. " : 行列 |
| 6. " : 関数の極限 | 23. " : " |
| 7. " : " | 24. " : 連立1次方程式 |
| 8. " : " | 25. " : " |
| 9. " : 微分法 | 26. " : 複素数 |
| 10. " : " | 27. " : " |
| 11. " : 積分法 | 28. 5) 第3章：集合・論理 |
| 12. " : " | 29. " : 統計・写像 |
| 13. " : 数列 | 30. " : 確率 |
| 14. " : " | 31. " : 統計 |
| 15. " : まとめの問題 | 32. " : まとめの問題 |
| 16. " : | 33. " : " |
| 17. 3) 定期考査：前期（試験） | 34. 5) 定期考査：後期（試験） |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・Primary「大学ノート よくわかる基礎数学」

【参考文献・その他】

- ・プリント配布

【科目コード：土 015】

科目	コンピュータ実務 I	科目区分	一般教養
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	1年
担当講師	辺土名 朝史	単位数	2単位
実務経験	総合建設業勤務経験		

【授業のねらい】

・文書作成ソフト（ワード）、表計算（エクセル）など、社会で必須とされるコンピュータスキルを基礎から学ぶ。

【授業の展開計画】

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. 5) 関数 2：関数練習 |
| 2. 2) エクセル基本：レイアウト・その他設定 | 19. //：シート取扱い・複数計算 |
| 3. //：セル移動・選択・入力 | 20. //：時間計算・オートフィルター |
| 4. //：変更と書式 | 21. //：関数の組合せ |
| 5. //：表作成 | 22. //：三角関数(Ceiling・Int) |
| 6. //：データ移動・罫線・表 | 23. //：入力規則 |
| 7. //：計算(+、-)・計算復習 | 24. //：エクセル総合復習(1・5) |
| 8. //：合計(SUM) | 25. //：// (6・10・15) |
| 9. //：計算(構成比)・計算復習 2 | 26. 6) ワード基本：レイアウト・その他設定 |
| 10. //：ユーザー定義 | 27. 書式：文字・色・網掛け・囲み線・拡大 |
| 11. //：練習 1 | 28. //：組合せ・効果・輪郭・光彩・ペン |
| 12. //：// 2 | 29. //：グラデーション(基本・種類・組合せ) |
| 13. 3) 関数 1：Round・Sumif・Countif | 30. アート：ワードアート(基礎・グラデーション) |
| 14. //：Rank・If・Vlookup・日付 | 31. //：応用設定・効果・作成練習 |
| 15. //：Dsum・演算子(&) | 32. テキストボックス：塗り潰し・影・光彩・調整・効果 |
| 16. まとめ：成果品のデータ管理 | 33. 罫線：表作成・追加・結合・スタイル |
| 17. 4) 定期考査：前期(成果品)(試験) | 34. 7). 定期考査：後期(成果品)(試験) |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点(40点満点)と成果品評価(60点満点)の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・参考書等でのプリント配布・各演習データ配布

【参考文献・その他】

- ・インターネットよりフリー素材参考(エクセル・ワードなどの演習データ)
- ・プロジェクター使用

【科目コード：土 016】

科目名	建築設計製図	科目区分	専門基礎
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	2年
担当講師	前里 悦子	単位数	2単位
実務経験	建築設計事務所経営		

【授業のねらい】

・集合住宅、公共施設など大規模建築の設計と製図を学び、図面作成を行い応用技術を習得する。

【授業の展開計画】

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. 9) 設計製図：完成図 |
| 2. 2) 建物構成：エントランス・階段・昇降機 | 19. 集合住宅設計1：条件・エスキースなど |
| 3. " ：便所・コア・吹抜け空間 | 20. " ： " |
| 4. " ：勾配・庇・駐車場計画 | 21. 集合住宅設計2：平面図 |
| 5. 3) 構造計画：種別・PC梁・架構 | 22. " ： " |
| 6. " ：地下・基礎・耐力壁・免震 | 23. 集合住宅設計3：立面図 |
| 7. 4) 設備計画：空調種別・換気・排煙 | 24. " ： " |
| 8. " ：給水・給湯・受変電・照明など | 25. " ：断面図 |
| 9. 5) 法規知識：建ぺい率・斜線制限など | 26. 集合住宅設計4：プレゼンテーション |
| 10. 6) エスキース：環境条件とアプローチの目安 | 27. 公共・大型規模設計1：建物構成・特徴 |
| 11. " ：計画・施設・全体配置立案 | 28. " ：条件・動線など |
| 12. " ：面積・所要室計画・設置階 | 29. 公共・大型規模設計2：平面図 |
| 13. " ：ゾーニング・動線・プランニング | 30. " ： " |
| 14. " ：宿泊や集合住宅のプランニング | 31. 公共・大型規模設計3：立面図 |
| 15. 7) 設計製図：建物構成・特徴・条件・動線 | 32. " ：断面図 |
| 16. " ：計画・エスキース・計画要点など | 33. 公共・大型規模設計4：プレゼンテーション |
| 17. 8) 定期考査：前期(成果品)・評価 | 34. 10) 定期考査：後期(成果品)・評価 |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点(40点満点)と成果品(60点満点)試験点数の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

・1級建築士試験合格の為の設計製図テクニックのすべて 最短時間で最良の解決

【参考文献・その他】

・参考プリント配布

【科目コード：土 017】

科目名	エクステリア設計	科目区分	専門
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	2年
担当講師	岩村 浩生	単位数	2単位
実務経験	造園会社経営		

【授業のねらい】

・建築物と調和した造園施工を学び、各部材を利用して新しい空間アプローチを理解し、機能性と環境を両立した知識を習得する。

【授業の展開計画】

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. 第3章：サービス設備機器と空間 |
| 2. 2) 第3章：部位別デザイン・門扉 | 19. //：勝手口廻り |
| 3. //：門柱 | 20. //：外流し |
| 4. //：ポストデザイン | 21. //：メーター検針対策 |
| 5. //：インターホン・表札 | 22. //：洗濯物干し |
| 6. //：アプローチの仕上げ | 23. //：快適対策（ベット） |
| 7. //：照明・LED | 24. //：引込線電線の処理 |
| 8. //：フェンス・塀 | 25. //：その他（雨ドレン・犬小屋・炉） |
| 9. //：擁壁 | 26. //：駐車場・駐輪スペース① |
| 10. //：植栽 | 27. //：//② |
| 11. //：中庭・坪庭 | 28. //：//③ |
| 12. //：テラス | 29. //：引戸とシャッター |
| 13. //：バルコニー・ベンチ | 30. //：壁や塀のようなデザイン |
| 14. //：バーゴラ・オーニング | 31. //：ガレージの屋根 |
| 15. //：目隠しと閉塞感 | 32. //：屋根の構成 |
| 16. //：光・風・緑・水のデザイン | 33. //：置場の存在感を抑えるには |
| 17. 3) 定期考査：前期（成果品）（試験） | 34. 4) 定期考査：後期（成果品）（試験） |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40点満点）と成果品評価（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

・彰国社 エクステリアの設計と事例 計画の考え方からディテールまで

【参考文献・その他】

・プリント配布・現場見学

【科目コード：土 018】

科目名	土木計画	科目区分	専門
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	2年
担当講師	辺土名 朝史	単位数	4単位
実務経験	総合建設業勤務経験		

【授業のねらい】

・都市型生活の基盤となるインフラストラクチャーを理解し、周辺設備・防災関連、環境との融合などについて習得し、土木計画の基盤を学ぶ。

【授業の展開計画】

- | | | |
|-------------------------|-----|---------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. | 5) 第3章 水資源 1：水と人の関係 |
| 2. 2) 第1章 1：暮らしと社会基盤 | 19. | 2：利水について |
| 3. " : 暮らしと町づくり | 20. | 3：治水計画 |
| 4. " : 流通や水源 | 21. | 4：上下水道 |
| 5. " 2：古代の土木技術 | 22. | 5：水環境の保全 |
| 6. " : 現代の土木技術 | 23. | 6) 第4章 暮らしと町 1：都市開発 |
| 7. " 3：国土形成計画 | 24. | 2：保全・整備・実施 |
| 8. 3) 第2章 1：交通・運輸 | 25. | 3：都市の再生 |
| 9. " : 発展と現状 | 26. | 4：景観・創造・安全 |
| 10. " 2：道路機能 | 27. | 5：エネルギーの整備 |
| 11. " : 道路計画 | 28. | 6：災害と防災 |
| 12. " : 道路設計 | 29. | 7：災害の種類と被災状況 |
| 13. " 3：鉄道計画 | 30. | 8：防災対策 |
| 14. " 4：港湾計画 | 31. | 9：社会形成 1：循環型社会 |
| 15. " 5：都市高速道路 | 32. | 2：廃棄物の歴史と分類 |
| 16. " 6：環境対策 | 33. | 3：建設業でのリサイクル |
| 17. 4) 定期考査：前期（成果品）（試験） | 34. | 7) 定期考査：後期（成果品）（試験） |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・実教出版「社会基盤工学」・日建学院「2級土木施工管理技士受験対策テキスト」

【参考文献・その他】

- ・プリント配布・現地調査

【科目コード：土 019】

科目名	測量実習Ⅱ	科目区分	専門基礎
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	1年
担当講師	辺土名 朝史	単位数	2単位
実務経験	総合建設業勤務経験		

【授業のねらい】

・専門テキストを使用して測量実習で得たデータをもとに演習を行い、測量士補テキストを通して、測量のしくみを理解し国家試験にも対応できる知識を学ぶ。

【授業の展開計画】

- | | | |
|----------------------------|-----|-----------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. | 7) 写真測量：対空標識・空撮の特性 |
| 2. 2) 測量法規：測量法・留意事項 | 19. | 〃：高度と縮尺・オーバーラップなど |
| 3. 3) 汎地球測位システム：GNSS 測量・原理 | 20. | 〃：写真像のずれ・三角測量 |
| 4. 〃：誤差・基準点測量 | 21. | 〃：現地調査・写真の判読 |
| 5. 〃：楕円体高・RTK 法 | 22. | 〃：デジタルマッピングなど |
| 6. 4) 多角測量：作業順序・留意点・誤差・消去 | 23. | 8) 地図編集：投影法・座標系・緯度・経度 |
| 7. 〃：観測(水平・高度角) | 24. | 〃：読図と地図記号 |
| 8. 〃：〃 | 25. | 〃：地形図図式規定 |
| 9. 〃：光波測距儀の測定 | 26. | 〃：CP による地図編集システム |
| 10. 〃：〃 誤差と補正 | 27. | 9) 地形測量：現地測量・GIS |
| 11. 〃：方向角の計算・偏心補正 | 28. | 〃：数値地形図データ |
| 12. 5) 水準測量：概要・観測の留意点 | 29. | 10) 応用測量：路線測量 |
| 13. 〃：誤差と消去法 | 30. | 〃：曲線設置 |
| 14. 〃：レベルの点検と調整 | 31. | 〃：河川測量 |
| 15. 〃：標尺の補正・往復の較差 | 32. | 〃：流速・流量測定 |
| 16. 〃：電子レベル | 33. | 〃：用地測量・面積・体積 |
| 17. 6) 定期考査：前期(成果品)(試験) | 34. | 11) 定期考査：後期(成果品)(試験) |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点(40点満点)と成果品(60点満点)の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

・実教出版「測量演習ノート」・日建学院 「測量士補 過去問 280」

【参考文献・その他】

・プリント配布・インターネットよりフリー素材参考(画像・文面)・測量機を使用

【科目コード：土 020】

科目名	建築設備	科目区分	専門基礎
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	2年
担当講師	宮城 敦	単位数	4単位
実務経験	建築会社経営		

【授業のねらい】

・空調設備、給排水設備、衛生設備、電気設備、防災設備、消火設備、移動設備などについて学ぶ。

【授業の展開計画】

- | | | |
|-------------------------|-----------------------|----------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. | 7) 第5章：ガス・通信設備の種類・性質 |
| 2. 2) 第1章：給水・給湯設備 | 19. | 〃：都市ガスの供給方式 |
| 3. 〃：給水・給湯の構成 | 20. | 〃：液化石油ガス設備の種類・性質 |
| 4. 〃：給水・給湯設備の設計 | 21. | 〃：液化ガスの供給方法 |
| 5. 〃：配管における汚染防止 | 22. | 〃：ガスの燃焼と換気 |
| 6. 3) 第2章：排水通気設備・下水道 | 23. | 〃：燃焼形式によるガス機器 |
| 7. 〃：排水通気設備と配管機器 | 24. | 〃：厨房設備・作業セクション |
| 8. 〃：排水機器と通気系統 | 25. | 〃：他の設備との関連 |
| 9. 〃：雨水排水・配管方法 | 26. | 〃：洗濯設備・機器レイアウト |
| 10. 〃：住宅排水設備設計 | 27. | 〃：他の設備との関連 |
| 11. 4) 第3章：排水処理設備・浄化原理 | 28. | 〃：ごみ処理設備・ |
| 12. 〃：し尿浄化設備 | 29. | 〃：事業系・放射性排水処理設備 |
| 13. 〃：排水再利用 | 30. | 〃：IT設備 |
| 14. 5) 第4章：防災設備・消火設備 | 31. 8) 第6章：衛生・防災設備の施工 | |
| 15. 〃：警報設備 | 32. 〃：衛生器具工事 | |
| 16. 〃：避難・誘導・施設構成 | 33. 〃：試験・検査・保守 | |
| 17. 6) 定期考査：前期（試験） | 34. 9) 定期考査：後期（試験） | |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・実教出版 高等学校用 文部科学省「衛生・防災設備」

【参考文献・その他】

- ・プリント配布・インターネットよりフリー素材参考（画像・文面）・プロジェクター使用

【科目コード：土 021】

科目名	電気設備	科目区分	専門基礎
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	2年
担当講師	渡慶次 育恵	単位数	4単位
実務経験	総合建設業勤務経験		

【授業のねらい】

・土木分野に関連する変電設備、送電設備、発電設備について学ぶ。

【授業の展開計画】

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. 8) 第6章：照明・光放射エネルギー |
| 2. 2) 第1章：エネルギー資源と電力・水力電力 | 19. "：光の基本量と測定 |
| 3. "：水力発電 | 20. "：光源と照明設計 |
| 4. "：水力発電・火力発電 | 21. 9) 第7章：電気加熱・電熱基礎 |
| 5. "：原子力発電・新発電方式 | 22. "：各種の電熱装置・電気溶解 |
| 6. 3) 第2章：送電・送電方式 | 23. 10) 第8章：自動制御・概要 |
| 7. "：送電線路 | 24. "：シーケンス制御 |
| 8. "：送電と変電の運用 | 25. "：シーケンス・フィードバック制御 |
| 9. 4) 第3章：配電・系統構成 | 26. "：フィードバック制御 |
| 10. "：系統構成・配電線路 | 27. 11) 第9章：コンピュータ制御 |
| 11. "：配電線路の電気的特性 | 28. "：制御用コンピュータ |
| 12. 5) 第4章：屋内配線 | 29. 12) 第10章：電気化学・電池 |
| 13. "：自家用発電設備 | 30. "：表面処理・電解化学工業 |
| 14. "：屋内配線 | 31. 13) 第11章：電気鉄道・特徴・方式 |
| 15. "：" | 32. 14) 第12章：電気応用・ヒートポンプ |
| 16. 6) 第5章：電気法規 | 33. "：各機器への応用 |
| 17. 7) 定期考査：前期(演習ノート成果品) | 34. 15) 定期考査：後期(演習ノート成果品) |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点(40点満点)と演習ノート成果品(60点満点)の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

・実教出版「電力技術1・2 新訂版」・実教出版 電力技術1・2 演習ノート」

【参考文献・その他】

・ビデオ学習

【科目コード：土 022】

科目名	構造力学Ⅱ	科目区分	専門基礎
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	2年
担当講師	當間 直樹	単位数	4単位
実務経験	—		

【授業のねらい】

- ・ 不静的構造物の力学的問題を解く方法を学ぶ。

【授業の展開計画】

- | | | | |
|-------------------------------|-----|----------------|----------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方 | 18. | 〃 | ：単位荷重と静的分解の余力【3】 |
| 2. 2) 不静定構造物：部材力を求める【1】 | 19. | 〃 | ：剛性マトリクスよりトラスを解く【1】 |
| 3. 〃 | 20. | 〃 | ： 〃 |
| 4. 〃 | 21. | 〃 | ：剛性マトリクスよりトラスを解く【2】 |
| 5. 〃 | 22. | 〃 | ： 〃 |
| 6. 〃 | 23. | 〃 | ：剛性マトリクスよりラーメンを解く【1】 |
| 7. 〃 | 24. | 〃 | ： 〃 |
| 8. 〃 | 25. | 〃 | ：剛性マトリクスよりラーメンを解く【2】 |
| 9. 〃 | 26. | 〃 | ： 〃 |
| 10. 〃 | 27. | 〃 | ：電算無で骨組解析たわみ角【1】 |
| 11. 〃 | 28. | 〃 | ： 〃 |
| 12. 〃 | 29. | 〃 | ：電算無で骨組解析たわみ角【2】 |
| 13. 〃 | 30. | 〃 | ： 〃 |
| 14. 〃 | 31. | 〃 | ：不静定ばかりには3連モーメント【1】 |
| 15. 〃 | 32. | 〃 | ： 〃【2】 |
| 16. 3) 定期考査：前期（試験） | 33. | 〃 | ： 〃【3】 |
| 17. 2) 不静定構造物：単位荷重と静的分解の余力【2】 | 34. | 4) 定期考査：後期（試験） | |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・ 参考書より各問題プリント作成使用

【参考文献・その他】

- ・ プリント配布

【科目コード：土 023】

科目名	鉄筋コンクリート構造	科目区分	専門
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	2年
担当講師	辺土名 朝史	単位数	4単位
実務経験	総合建設業勤務経験		

【授業のねらい】

・鉄筋コンクリート（RC 造）の基本的性質、特性、耐力計算、施工方法、かぶり厚、擁壁などを理解し、現物の照査を踏まえて学習する。

【授業の展開計画】

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. RC 構造物：プレストレストコンクリート構造 |
| 2. 2) RC 構造物：種類と特性 | 19. "：基礎・土留め構造物 |
| 3. "：一般的な RC 造のつくり方 | 20. "：" |
| 4. "：耐久性を阻害する劣化機構 | 21. "：直接基礎 |
| 5. "：コンクリート橋の施工 | 22. "：杭基礎 |
| 6. "：PC コンクリート | 23. "：" |
| 7. "：" | 24. "：擁壁の種類と特性 |
| 8. "：" | 25. "：擁壁の構造 |
| 9. "：長方形梁の構造 | 26. "：RC 構造物の目的 |
| 10. "：" | 27. "：各構造物調査 |
| 11. "：中立軸の位置 | 28. "：" |
| 12. "：" | 29. "：" |
| 13. "：RC 柱 | 30. "：" |
| 14. "：" | 31. "：考察 |
| 15. "：T 形梁 | 32. "：" |
| 16. "：" | 33. "：結論 |
| 17. 3) 定期考査：前期（成果品）（試験） | 34. 4) 定期考査：後期（成果品）（試験） |

【履修上の注意事項】

出席率が 2 / 3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・実教出版「土木構造設計」工業 378・日建学院「2 級土木施工管理技士受験テキスト」

【参考文献・その他】

- ・プリント配布・ビデオ学習

【科目コード：土 024】

科目名	橋梁学	科目区分	専門
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	2年
担当講師	辺土名 朝史	単位数	4単位
実務経験	総合建設業勤務経験		

【授業のねらい】

・鋼材を多用とする橋梁を主体に橋の下部工、上部工の鋼構造の知識を学ぶ。

【授業の展開計画】

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. 第2章：プレートガーダー橋 |
| 2. 2) 第1章：土木構造物・種類・特徴・条件 | 19. "：荷重の計算（主桁） |
| 3. "：土木構造物の設計 | 20. "：プレートガーダー概要・目的 |
| 4. "：材料の特徴・性質 | 21. "：腹板の構造上の規定 |
| 5. "：鋼材 | 22. "：" |
| 6. "：鉄筋コンクリート | 23. "：フランジの構造上の規定 |
| 7. "：コンクリート | 24. "：" |
| 8. "：設計荷重の種類 | 25. "：フランジの材料性能 |
| 9. "：死・活荷重・衝撃・地震荷重 | 26. "：" |
| 10. "：鋼材の加工 | 27. "：フランジの加工特性 |
| 11. "：溶接接合・ボルト接合 | 28. "：" |
| 12. 3) 第2章：H形鋼の橋構造設計 | 29. "：" |
| 13. "：主桁せん断と曲げ | 30. "：連結部におけるボルトの配置 |
| 14. "：主桁せん断と曲げ照査 | 31. "：照査 |
| 15. "：補剛材の照査 | 32. "：考察 |
| 16. "：鋼構造物の積算 | 33. "：結論 |
| 17. 4) 定期考査：前期（試験） | 34. 5) 定期考査：後期（成果品） |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40点満点）と成果品（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・実教出版「土木構造設計」工業378・日建学院「2級土木施工管理技士受験テキスト」

【参考文献・その他】

- ・プリント配布・橋梁見学

【科目コード：土 025】

科目名	建築積算	科目区分	専門基礎
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	2年
担当講師	當間 直樹	単位数	4単位
実務経験	—		

【授業のねらい】

・建築積算の基本事項を概説し、RC造、SRC造、W造の積算について設計例をもとに数量拾い
の方法を学ぶ。

【授業の展開計画】

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. 10) 建築数量：基準について |
| 2. 2) 建築積算：概要と生産プロセス | 19. 11) 数量拾い：土工 |
| 3. 3) 入札とは：入札の種類・工事発注 | 20. " : " |
| 4. " : " | 21. " : 地業 |
| 5. " : 工事契約・数量公開 | 22. " : " |
| 6. 4) 積算業務：業務の概要 | 23. " : 躯体 |
| 7. 5) 設計図書：設計図の構成・種類 | 24. " : " |
| 8. " : 仕様書などの種類 | 25. " : 鉄骨 |
| 9. 6) 工事費：工事費の構成 | 26. " : " |
| 10. 7) 建築コスト：数量と単価 | 27. " : 仕上げ（外部・内部） |
| 11. 8) 内訳書：工種別内訳書 | 28. " : 開口部 |
| 12. " : " | 29. " : 間仕切下地 |
| 13. " : 部分別内訳書 | 30. " : 仮設工事 |
| 14. " : " | 31. " : " |
| 15. " : 内訳書の作成 | 32. " : 設備工事・応用分野 |
| 16. " : " | 33. " : " |
| 17. 9) 定期考査：前期（試験） | 34. 12) 定期考査：後期（試験） |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価
をする。

【テキスト】

- ・公益社団法人 日本建築積算協会 建築積算

【参考文献・その他】

- ・プリント配布

【科目コード：土 026】

科目名	建築法規関連	科目区分	専門
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	2年
担当講師	當間 直樹	単位数	4単位
実務経験	—		

【授業のねらい】

- ・建築基準法及び重要関係法令の構成や用語定義、基本となる理念や内容について学ぶ。

【授業の展開計画】

- 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 18. // : 単体規定 【6】 避難②範囲・経路・検証
- 2) 建築法規概要：法規の歴史・役割 19. // : 単体規定 【7】 建築設備①
- 3) // : 法規の体系 20. // : // 給排水・空調・EV など②
- 3) 用語の定義：建築物に関わる用語 21. 6) 都市と街区の健全性：(集団規定)1
- 5) // : 防火部分の定義・面積 22. // : (集団規定)1 道路敷地・
- 4) 健全性：単体規定 【1】 一般構造① 23. // : (集団規定)2 用途地域
- 7) // : // (衛生・安全など) ② 24. // : // 容積・建ぺい率・高さ制限
- 8) // : 単体規定 【2】 一般構造① 25. // : (集団規定)3 防火地域
- 9) // : // (各種構造について) ② 26. // : // 地区と街区計画
- 10) // : 単体規定 【3】 一般構造① 27. 7) 確認申請と手続規定：確認と許可
- 11) // : // (各種応力について) ② 28. // : 工事の着工竣工・違反に対する措置
- 12) // : 単体規定 【4】 防火・内装制限① 29. 8) 関連法令：①都市計画・消防・ハートビル
- 13) // : // (各種の防火措置) ② 30. // : 住宅品質確保法・耐震改修
- 14) // : 単体規定 【5】 防火・内装制限① 31. // : ②建築士法・建設業法
- 15) // : // (耐火建築物・区画・制限)② 32. 9) 実例検討：木造2階建住宅
- 5) 定期考査：前期(試験) 33. // : RC造6階建事務所
- 17) // : 単体規定 【6】 避難①避難規定 34. 10) 定期考査：後期(試験)

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点(40点満点)と試験点数(60点満点)の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・日本建築学会「建築法規用教材」

【参考文献・その他】

- ・プリント配布

【科目コード：土 027】

科目名	道路地盤工学	科目区分	専門基礎
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	2年
担当講師	辺土名 朝史	単位数	4単位
実務経験	総合建設業勤務経験		

【授業のねらい】

・日本における津波・液状化・造成盛土の崩壊被害について学び、道路計画や造成工事に必要な知識や対応策を習得する。

【授業の展開計画】

- | | | |
|-------------------------|-----|----------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. | 6) 第4章：管理手法と資料調査① |
| 2. 2) 第1章：地盤に起因リスク・造成工事 | 19. | 〃：資料調査②・③ |
| 3. 〃：造成地の受渡と販売 | 20. | 〃：地盤観察①・② |
| 4. 〃：災害時・土壌汚染・管理 | 21. | 〃：サンディング①・標準貫入試験 |
| 5. 3) 第2章：工事リスク・事前調査①② | 22. | 〃：サンディング②・スウェーデン式 |
| 6. 〃：業者選定①② | 23. | 〃：物理調査・土質試験①・② |
| 7. 〃：引渡しと品質評価 | 24. | 7) 第5章：地盤保証制度の背景 |
| 8. 〃：事後調査①② | 25. | 〃：保証制度変遷と留意点 |
| 9. 〃：購入・販売・人工地盤 | 26. | 8) 第6章：地形関係・堤防・湿地・旧道 |
| 10. 〃：既存資料と地盤状況 | 27. | 〃：谷底低地・ローム台地・埋土 |
| 11. 〃：保証制度と汚染調査 | 28. | 9) 第7章：軟弱地盤の改良種類 |
| 12. 4) 第3章：工事と品質のトラブル | 29. | 〃：工法選定・工事の注意点 |
| 13. 〃：沈下と地盤破壊①～④ | 30. | 10) 第8章：地形踏査・地形調査① |
| 14. 〃：住宅品質と不同沈下①～③ | 31. | 〃：地形調査②③ |
| 15. 〃：災害時の問題点 | 32. | 〃：地形の土質と地盤の特徴 |
| 16. 〃：盛土・液状化 | 33. | 〃：地盤調査結果の把握 |
| 17. 5) 定期考査：前期（成果品）（試験） | 34. | 11) 期考査：後期（成果品）（試験） |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・住宅新報社「地盤調査入門 改訂版」・日建学院「2級土木施工管理技士受験対策テキスト」

【参考文献・その他】

- ・インターネットよりフリー素材参考（画像・文面）・プロジェクター使用・現場見学

【科目コード：土 028】

科目名	施工管理倫理	科目区分	専門
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	2年
担当講師	辺土名 朝史	単位数	4単位
実務経験	総合建設業勤務経験		

【授業のねらい】

・あらゆる分野で管理業務があり、土木においても管理技術者として自己分析し、他者との関係・発展・社会情勢を認識、自己実現への取組みを学ぶ

【授業の展開計画】

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. 5) 第2章：科学技術と産業・生物生産 |
| 2. 2) 第1章：人間生活と職業・自己分析 | 19. " ：海洋資源 |
| 3. " ：家庭について | 20. " ：ものづくり技術 |
| 4. " ：社会とは | 21. " ：伝統技術 |
| 5. " ：職業の種類 | 22. " ：人文社会と産業・ビジネス |
| 6. " ：職業人生 | 23. " ：豊かさについて |
| 7. " ：勤労観・職業観 | 24. " ：社会生活の課題 |
| 8. " ：職業に関する法規 | 25. " ：産業社会 |
| 9. " ：職業と資格 | 26. " ：スポーツ・余暇産業 |
| 10. " ：プレゼンテーション | 27. " ：生活文化 |
| 11. " ：プレゼン形式 | 28. " ：医療・福祉サービス |
| 12. 3) 第2章：産業発展と社会変化・構造変化 | 29. " ：ボランティア |
| 13. " ：国際化する日本企業 | 30. " ：行政の種類 |
| 14. " ：情報社会の進展 | 31. " ：マスコミ・芸能・自由業 |
| 15. " ：地球環境 | 32. 6) 第3章：自己実現と進路 |
| 16. " ：地球環境対策 | 33. " ：主な職業と適正 |
| 17. 4) 定期考査：前期（成果品）（試験） | 34. 7) 定期考査：後期（成果品）（試験） |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点(40点満点)と成果品(60点満点)の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・実教出版 あすへの進路をひらく「新版 産業社会と人間」

【参考文献・その他】

- ・プリント配布・講演会参加

【科目コード：土 029】

科目名	園芸学	科目区分	専門
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	2年
担当講師	岩村 浩生	単位数	4単位
実務経験	造園会社経営		

【授業のねらい】

・造園外構の構成を認識し、あらゆる視点から空間デザインとアプローチする仕組みを学ぶ。

【授業の展開計画】

1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 18. // : 土石流と大地の自律
2. 2) 第1章：土中環境とは 19. // : 環境再生プロセス
3. // : 土中環境への目覚め 20. // : 水の力
4. // : 森林状態と土中環境の相関性 21. // : 水の変化をもたらすもの
5. // : 土壌の構造と土 22. 5) 第3章：暮らしを支える海・川・森
6. // : 樹木との共生 23. // : 暮らしを支える環境
7. // : 健全な土壌構成 24. // : 信仰に守られてきた大地
8. // : 崩壊が引き起こす荒廃 25. // : 大地の水環境・川のいのち
9. // : 土中の階層構造 26. // : アイヌの暮らしと河川
10. // : 通気浸透水脈 27. // : 地下水がつなぐ海と森
11. // : 生死の環境・神秘の菌糸 28. // : 鎮守の杜が守る発酵の里
12. // : 土に還るということ 29. 4) 第4章：安全で豊かな環境
13. 3) 第2章：大地の通気浸透水脈 30. // : 過去の土木造作の技と智慧
14. // : 地形と大地の通気浸透水脈 31. // : 土砂崩壊を土中環境から考える
15. // : 健康な河川の仕組みと崩壊 32. // : 石垣や道の造作にみる土木視点
16. // : 貯水ダムと流亡プロセス 33. // : 平野開発における土木造作
17. 4) 定期考査：前期(成果品) (試験) 34. 6) 定期考査：後期(成果品) (試験)

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点(40点満点)と試験点数(60点満点)の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

・建築資料研究社・日建学院「土中環境－忘れられた共生のまなざし、蘇る古の技」

【参考文献・その他】

・プリント配布・現場見学

【科目コード：土 030】

科目名	造園学Ⅱ	科目区分	専門基礎
履修時間	68時間	講義コマ	34コマ
開講学期	通年	対象学年	2年
担当講師	岩村 浩生	単位数	4単位
実務経験	造園会社経営		

【授業のねらい】

・外構構成、計画、設計、施工、品質、緑地計画、栽培、剪定技法などの造園全般に関する知識について学ぶ

【授業の展開計画】

- | | | |
|--------------------------|-----|----------------------|
| 1. 1) 授業ガイダンス：授業説明、評価方法 | 18. | 5) 第6章：擁壁工 |
| 2. 2) 第5章：建築様式 | 19. | 〃： |
| 3. 〃：〃 | 20. | 〃：排水工 |
| 4. 〃：建築工程 | 21. | 〃： |
| 5. 〃：〃 | 22. | 〃：給水工 |
| 6. 〃：木造の詳細 | 23. | 〃：電気工 |
| 7. 〃：〃 | 24. | 〃：建設機械 |
| 8. 〃：茶室と茶庭 | 25. | 6) 第7章：施工管理 |
| 9. 3) 第6章：施工 | 26. | 〃：請負契約・施工計画 |
| 10. 〃：〃 | 27. | 〃：工程管理・品質管理 |
| 11. 〃：造園測量 | 28. | 〃：安全管理・リサイクル |
| 12. 〃：〃 | 29. | 7) 第8章：法規 |
| 13. 〃：土工 | 30. | 〃：公園関係法規 |
| 14. 〃： | 31. | 〃：労働関係法規 |
| 15. 〃：舗装工 | 32. | 〃：建設関係法規 |
| 16. 〃：コンクリート工 | 33. | 〃：その他関係法規 |
| 17. 4) 定期考査：前期(成果品) (試験) | 34. | 8) 定期考査：後期(成果品) (試験) |

【履修上の注意事項】

出席率が2/3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点(40点満点)と試験点数(60点満点)の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

- ・オーム社 「わかりやすい造園実務ポケットブック」

【参考文献・その他】

- ・プリント配布・インターネットよりフリー素材参考(画像・文面)・現場見学